

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

ネフローゼ症候群に対するステロイド総積算量と治療効果に対する検討
1. 研究の対象および研究対象期間 2014年4月1日から2026年4月1日に昭和医科大学江東豊洲病院において微小変化型ネフローゼ症候群と診断されステロイド加療が行われた患者さん
2. 研究目的・方法 微小変化型ネフローゼ症候群の治療において、ステロイド薬は非常に有効ですが、その減量方法については明確な基準が確立されていません。本研究では、過去の治療データを振り返り、ステロイドの減量スピードや総投与量が、病気の再発率や副作用の発生にどのように影響しているかを明らかにすることを目的としています。この研究結果は、将来のネフローゼ症候群の患者さんに対して、より安全で再発しにくい最適な治療法を提供するための重要な基礎データとなります。
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2028年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 患者さんの電子カルテから以下の情報を抽出し、解析に用います。 <ul style="list-style-type: none">治療前：身長、体重、血圧、尿たんぱく量、Alb、Cr、IgG、IgA、IgM、IgE、selectivity index、内服歴、糖尿病の有無、合併症の有無、腎生検結果治療内容：ステロイドパルスの有無、PSL投与量、併用薬の有無、蛋白尿陰性化までの日数、再燃までの期間とPSL総積算量
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和医科大学江東豊洲病院内科 氏名 宮崎友晃

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学江東豊洲病院内科

氏名：宮崎友晃

住所：東京都江東区豊洲 5-1-38

電話番号：03-6204-6883